

2018～2019 年度 第 2570 地区 活動方針

国際ロータリー第 2570 地区
2018-2019 年度 ガバナー 茂木 正



2018～2019 年度 RI.BARRY RASSIN 会長 テーマ BE THE INSPIRATION 『インスピレーションになろう』

皆様が既にご存知の国際ロータリーRI 会長バリー ラシン氏の今年度のテーマです。そしてクラブ対象のロータリー賞として下記の三つを掲げています。

1. クラブのサポートと強化
2. 人道的奉仕の重点化と増加
3. 公共イメージと認知度の向上

私はこの RI 会長の指針に沿って私共の年度を進めて参ります。ロータリー活動の根源をなす世界で善い事をしようと言う方針はもとより、その大きな柱はポリオの撲滅と会員増強です。会員皆様はそれぞれの地域で善いことをしたいと取り組んでこられました。私達ロータリアンの活動は地域や国を越えて世界平和へと繋げてゆくものです。

その善いことをしようと言うロータリーの仲間は一人数でも多い方がいい、一人数でも多い方が大きな力を得ることが出来、目的に一日も早く到達できるものと考えています。会員増強は活動を更に強いものへと押し上げるものです、そして何よりクラブや会員相互の関係をより善くするものです。

RI 会長指針を受けての地区テーマ

『想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する』

私達はそれぞれの地域に生まれ、育まれて生きて今日の生活が有ります。

どんな人も、地域はもちろん世界に対して善いことをしたいと言う願望の様なものがあると思います。仕事や事業は叶っていてもどこかで社会に善いことをしたい、後々までも残るような善いことをしたいと言う思いがあるはずで

また親や祖先から受け継いだ想いを脈々とこの体に受け継いでいます。一人ではなかなかできない事を、ロータリー活動を通じてそれが実現できるのです！

そうした皆様の想いをロータリーの実践を通して自己実現と共に体現する、継続的な変革を求め、ロータリアンそれぞれがインスピレーションを与えられる存在に、影響を与えられるリーダーになってゆく事。それがインスピレーションになろうと云う事であります。

結果として地域がもっと善くなり、国が発展する事が奉仕の在り方の一つと思います。この国に生まれ、この地域に育てられた私達は、今度はこの国と地域にロータリー活動で奉仕するのです。

【 人道的奉仕の重点化と増加 】

- * ロータリーのポリオ撲滅活動へ勢金または認識向上を H 的とした行事を開く。
- * 提唱ロータリークラブと協力し、ロータリーの 6 つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトを実施する。

今までロータリークラブが行ってきた、世界からポリオを撲滅する活動も、もう一步のところまで来ました。しかし一般の皆様がポリオ撲滅に対して、今までロータリークラブの果たしてきたことをどの程度ご存知か甚だ疑問です。たぶん多くの人々がポリオの撲滅に世界のロータリーが果たした大きな力のことをご存じありません。もっと皆様にこの事実を認識して頂きたいと願うものです。

それは決して自画自賛ではなく、活動を知ってもらう事が疾病撲滅への皆様の意識を高める事に繋がります。ポリオが無くなったならそれでおしまいではありません。また次の問題に取り組んでゆかねばならないでしょう。単なるロータリー活動と言う枠を超えて、病気や貧困を無くしてゆこうとするロータリー活動を社会に広めてゆく事は大きな意味があります。今はその第一歩、眼前の世界からポリオを根絶してゆきたいと願うものです。

ポリオが根絶する事によりその経済効果は莫大なものになると言われています。そして何より発症する多くの子供たちの将来を守らなければなりません。

また、ロータリーで行ってきた希望の風奨学生についても更に支援を行ってまいります。その活動への勢金と意識向上への行事を開きます。またいろいろな他の催事に於いてもブースを設けるなどして希望の風奨学生勢金と、ポリオ撲滅への認知度をまず会員の中から広めて参りましょう。それこそがロータリーの公共イメージの向上につながるものです。ロータリーが善い事をしているという事を社会にアピールする事が、さらにポリオや疾病への撲滅意識を社会に広めることに成るのです。

2018~2019 年度内に於いても人道的奉仕の一環として、DDF を利用した地元や海外での地区補助金やグローバル補助金を増やしてゆく。その一環としてパラオ現地ロータリークラブと共同で、日本からパラオ共和国へ医療品支援と医師団の派遣を計画しております。

ご存知のようにパラオは第一次世界大戦後ドイツ領から日本へ移譲されたのち、先の大東亜戦争後、今度は米国の統治下になりました。その間パラオ国民はドイツや米国の統治よりも日本の統治が一番パラオの為に成ったと現在でも評価されています。日本にとってのシーレーンの確保を初めとする関係国との協力体制の強化を含め、日本にとってそうした友好国を一つでも多く創り、善い関係を創り上げる事はこれからもっと重要になってきます。

JAPAN FIRST などと云う事ではありません！自分の国や民族を大切にできない国や地域が発展し、他国や他地域へ支援できるはずがありません。自分自身の向上や地域の発展、その上での支援があります。まず仲間づくりと関係国との友好促進に他なりません。出来る事をこちらに顔を向けて手を伸ばしている処から行ってゆきましょう。多くの国や地域への支援を行ってゆこうとする時、モンゴルの諺ではありませんが、『まず家族を、そして仲間を、次に隣同士へ！』私達はできる所からお互いの支援をし合いながら互惠関係の構築に務めるべきと考えています。

そうした意味ではパラオ共和国は私共日本への親善意識も高く、また先の大東亜戦争で迷惑をかけた国でもあります。将来の日本の為にアジア諸国とオセアニアへの通り道としても絆を深く強く硬いものとしてゆくべきと考えています。

日本からの協力は支援だけにとどまらず、相互の友情と理解への醸成を育みます。青年交換も視野に入れて行ってゆきます。

現地の青年たちは殆んどがアメリカを目指しています。現地の言葉として溶け込んでいる多くの日本語のように、彼の国と我国の将来を託す若者同士が友情を育み、彼の地で使われている日本語の単語のように現地へ溶け込むことが私達の将来にもつながってくるのです。それこそが国際協力に繋がる支援の在り方でもありましょう。

今年度はパラオに限らず積極的に他クラブとの交流を促進して参ります。自分のクラブ内だけにとどまらず、大いに国内外のクラブとの交流を企画してください。そこにはきっと新しいロータリーの在り方と共に皆様方にとって大きな力と活力を与えてくれるものが出て参ります。

【 公共イメージと認知度の向上 】

- * **クラブで成功させたプロジェクトの情報を『ロータリー ショウケースに投稿する。**
- * **ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、『世界を変える行動人』キャンペーン用広告、資料、その他の関連資料を活用する。**

既に述べさせて頂きました計画と実践を通じてその行動と結果をいろいろなメディアにも発信してロータリーのイメージ創りに努めます。世界で善いことをし続けているロータリークラブは自分達の意識を更に高揚させ、またブランド力を高めます。

社会で良識ある人は、何か良い事をしたい。一人ではできないがグループで組織的に世界的な規模の中で参加したいと思って居る人がいます。自分もロータリークラブに入会して、地域は勿論世界的に善いことをしてみたいと思って賛同するメンバーが出てきます。

黙って陰徳を積む時代ではありません。善いことを世界に発信し、同じ志を持つ者同士が結束して善い事をする事で世界を変えてゆく行動人に繋がります。

我こそがロータリーの体現者という誇りと輝きを持って活動するときです！

その時こそ社会の皆様が、世界で善い事をする素晴らしいロータリアンを尊敬と、輝くブランドをも湛えてくれる事でしょう。

そうした事こそが、まさしくバリー ラシン RI 会長の掲げているインスピレーションになることです。ロータリーの心を体現し会員皆様が心を合わせて動くとき、世の人々はロータリーの心のインスピレーションを感じる事でしょう。行動を起こす時は今です、多くのロータリアンと共に世界を善くするという一つのH的を持って行動して参りましょう。そうした事こそが、広く社会にロータリーへの認識を深め『世界を変える行動人』へと繋がるのです。

以上の大きな□つの要点を満たし、達成する事が私の年度の全てです。

私達はこの世に生を受けて地域社会に育まれて生活をして参りました。私達はいったい何をするために生まれてきたのでしょうか、私達の生まれてきた本当の使命はなんなののでしょうか？私はこの体に受け継がれている、親祖先、先人皆様の想いを繋ぎ、更に発展させて次の時代へ引き渡すことだと考えています。

それこそが冒頭に掲げさせて頂きました『想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する』と云う事です。これからの様々なロータリーの活動を通してこの想いを実践実現して参りたいと強く願っています。

私達の年度一年間を通じて 2570 地区会員皆様のお力を是非結集して頂き、もっと善いロータリー活動を！もっと素晴らしい人生を創り上げるために一緒に活動をして頂けます事をお願い申し上げます。